

NCDS 305

北上おでんせ

(根本美紀/千葉一夫)

作詞・太田寿耕
補作詞・もり遊記
作曲・小町昭
編曲・

（おでんせく）

こはみちのく 北上川原

清き流れの
花の町

桜まつりの
白馬に揺られ

胸を焦がすなく
展勝地

ソレドッピンバラット
ハンバラリン

ワッハカキメタラ
ハレツトナ)

(以下明はやし略)

二、さんご橋から
トロイツコ流し

ゆるる火影に 頬染めて

遠い昔を
川面に映す

揃い浴衣のく
親子づれ

三、おまえ見初めた湯どころ夏油

川のせせらぎ　　聞きながら

紅葉舞い散る
いで湯の里は

月もはじらく
ひとつ影

四、くにみ国見奥羽おくまに雪降る頃は

胸に誉りの
笹りんどう

天に届くと
ダダスコ踏んで

吠声も凍れるく 采も舞う

五、オラが名物
数々あれど

和傘かざして 芋煮会

人の情けを
ト口火で炊けは

未来に花咲く
希望が湧く

一、人の命は米より軽い

かくこして乗れ 端

南部の宝だ 濡らしちやならぬ

俵く、俵背にして 呼ぶあの声は

黒沢尻の清五郎

二、川が暴れりや　この身は藻屑

親も女房も
無くて良い

笑顔にかくした
川岸衆氣質

知つてく知つてゐるだろ 北上川も

男の華は病

三、意地と度胸の天神丸が

花を競った
石巻

九曜の御紋に 譽れをかけた

男一代 船頭桜

鷗も惚れた
清五郎

舟帶～清五郎舟唄～
(二葉百合子)

作詞・星野哲郎
作曲 小町 昭
編曲

キングレコード株式会社

[illegible]

このCDから録音したテープを販売したり無断で他人に配ることは、著作権法違反になります。